

(西暦)

2021 年

7 月

7 日

## 【股関節開排制限、先天性股関節脱臼】の【診断、治療】のため

当院に入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた

### 臨床研究に対するご協力をお願い

研究責任者	所属 <u>整形外科</u> 職名 <u>部長</u> 氏名 <u>薩摩 眞一</u> 連絡先電話番号 <u>078-945-7300</u>
実務責任者	所属 <u>整形外科</u> 職名 <u>医長</u> 氏名 <u>衣笠 真紀</u>

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、整形外科 衣笠 までご連絡をお願いします。

#### 1 対象となる方

西暦 2016 年より 2026 年までの間に、【整形外科】にて【股関節開排制限または先天性股関節脱臼】の【診断、治療】のため【入院、通院】し、【超音波画像検査、単純レントゲン検査】を受けた方

#### 2 研究課題名

股関節エコーGraf分類と単純レントゲン画像の比較、AIによる診断の可能性

#### 3 研究実施機関

【診療科・部門名】

兵庫県立こども病院

#### 4 本研究の意義、目的、方法

股関節脱臼の画像診断には超音波画像検査（Graf分類）と単純レントゲン検査が有用である。しかし、その2つを比較した報告はなく、またそれらの画像分類や評価をAIで行うという報告はこれまでにない。そのため、これらの画像の比較とAI診断の可能性を後ろ向き研究で、どこまで正確にできるかを検討する。

方法は撮影された股関節開排制限または股関節脱臼疑いのある患者の、超音波画像検査（静止画、動画を含む）と単純レントゲン検査を再評価し、それらの分類について比較する。また脱臼例と非

脱臼例を調査者が分類し、AIにその画像を学習させ、その後AIが診断分類できるかどうかをその正確性を検討する。最終的には、超音波画像検査の動画において、AIが診断に有用なスライスを判断し抽出、分類が可能となることを目標とする。

## 5 協力をお願いする内容

診療録、検査結果、画像データの閲覧

## 6 本研究の実施期間

検査施行日；2016年から2026年

最終調査日；2020年～2030年12月31日（予定）

## 7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切開示いたしません。

## 8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

兵庫県立こども病院 整形外科 衣笠真紀

電話番号 078-945-7300

FAX 078-302-1023

e-mail info\_kch@hp.pref.hyogo.jp

以上